NII国立情報学研究所第42回「教育機関DXシンポ」

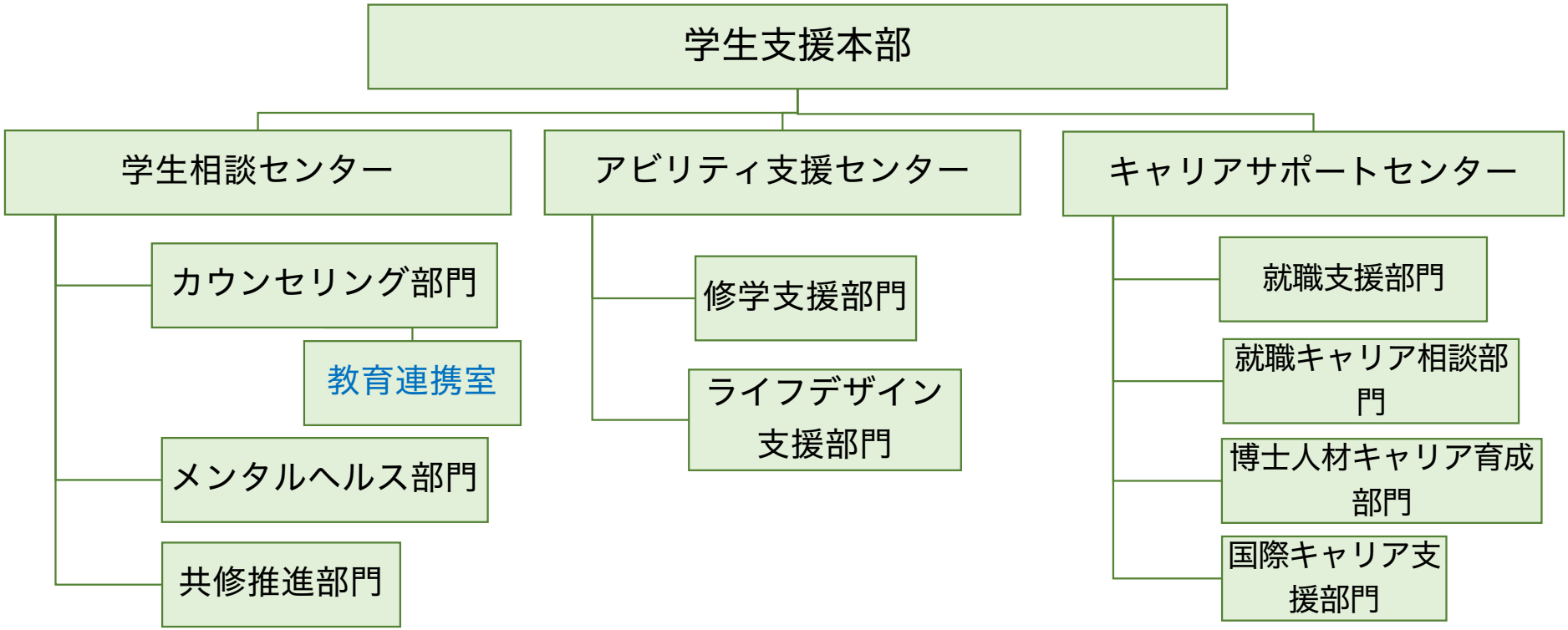
コロナ禍と学生のウェルビーイング
～名古屋大学学生支援本部における学生支援活動～

名古屋大学学生支援本部
学生相談センター教育連携室　講師
松本寿弥

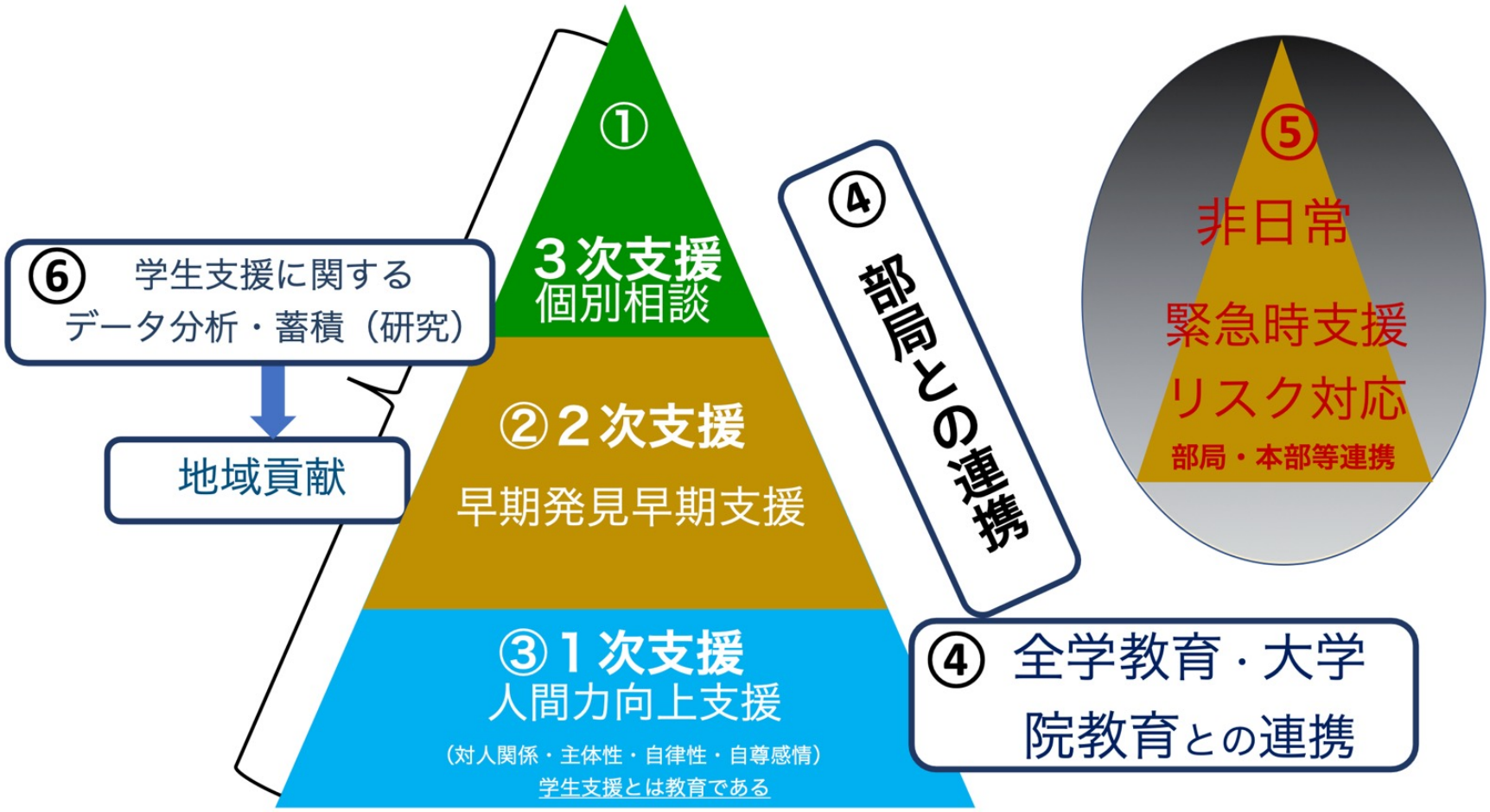
名古屋大学の紹介

- 学生数　約１万６千人
  - 学部：９学部　約１万人
  - 大学院：１４研究科　約６千人
  - （留学生：２千人）
- ７割が、愛知・岐阜・三重（片道１時間半通学）の出身者
- グローカルなユニバーシティ

2021年度より学生支援本部に改組

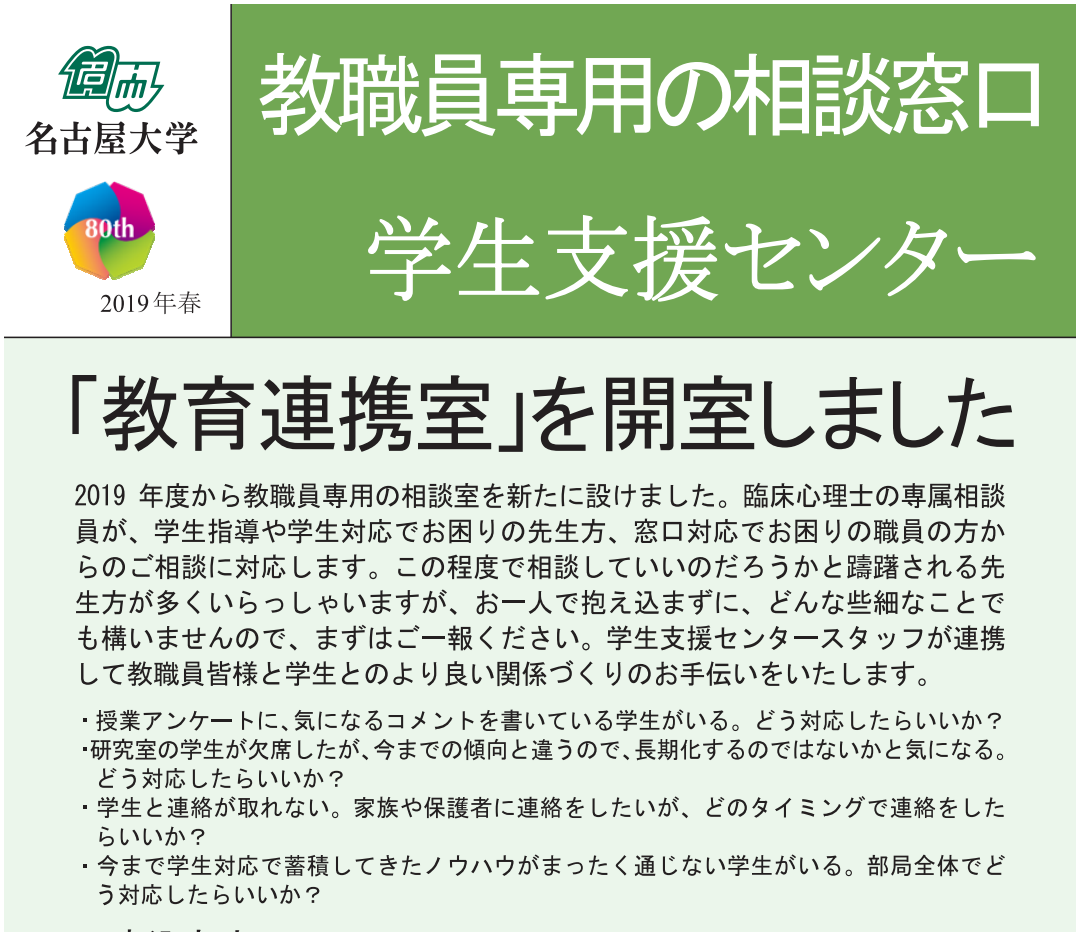


名古屋大学における学生支援の６機能

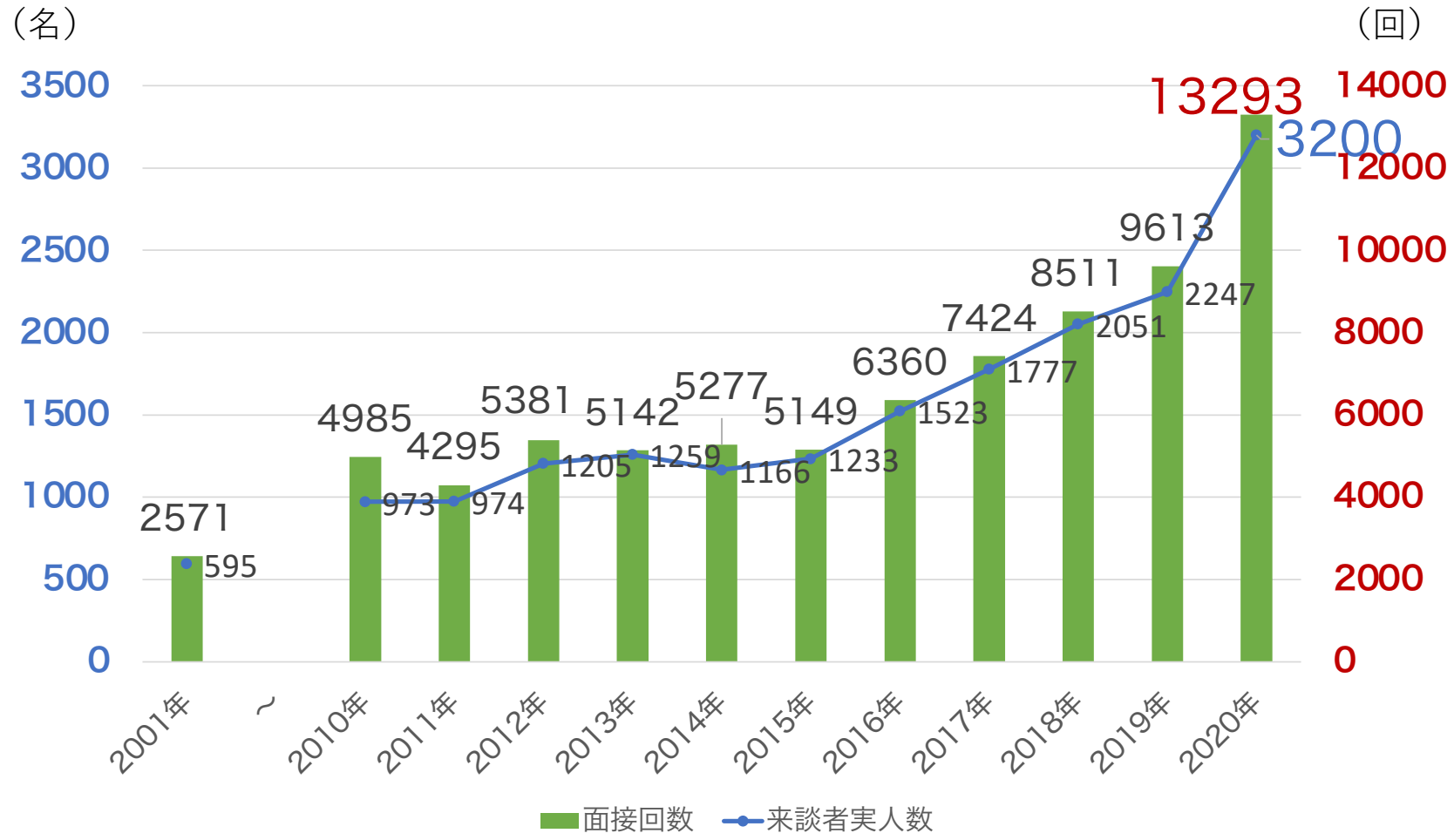


教職員専用相談窓口

- 2019年4月～
- 九州大学をお手本に
- 教員を支えることで学生を守る
- 毎月50~60名の相談に対応

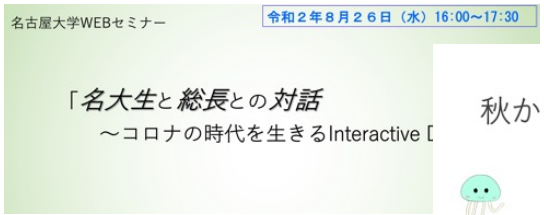


学生支援本部の相談実人数と延べ相談回数



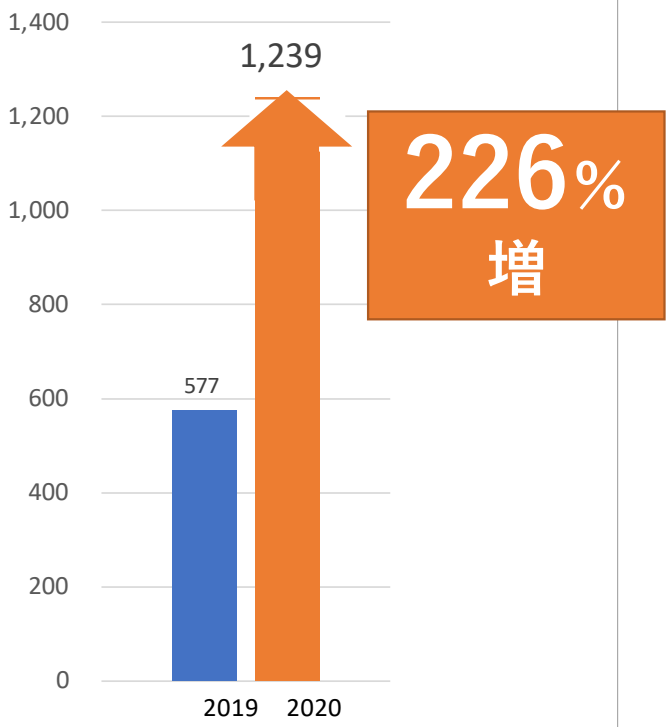
コロナ禍の学生支援

- 大学は卒業式、入学式、対面授業を中止。
- 学生支援窓口を閉じない
- 学生立ち入り禁止の中、執行部が「学生相談は例外」と認める
- 自家用車通勤へ切り替え（一部テレワーク）
- 専任相談員へ携帯電話の支給
- 電話、メール、オンライン相談が本格導入
- 対面授業の再開、オンライン・ハイブリッド授業の継続、渡航・移動の制限、経済的困難、キャンパスライフの不足
- 2020年8月「名大生と総長との対話」
- 2020年9月「新入生特別ガイダンス」

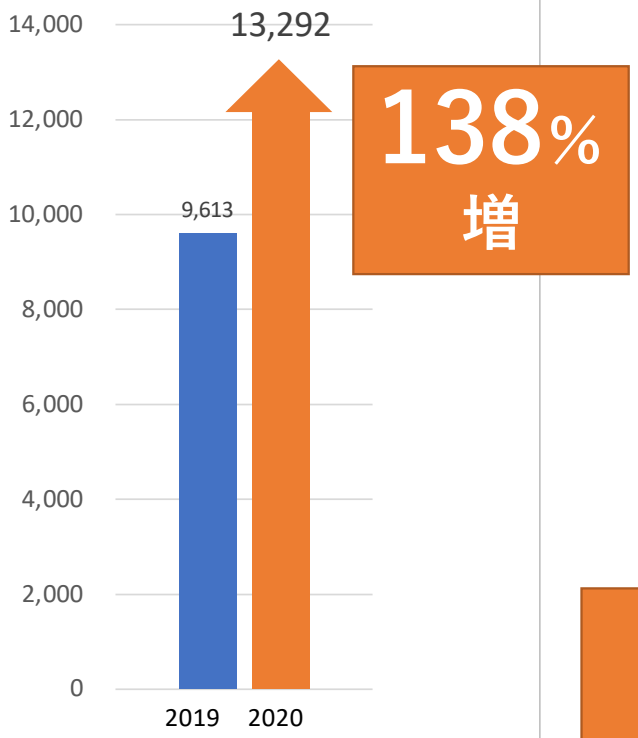


学生支援本部３次支援（個別相談）の概要

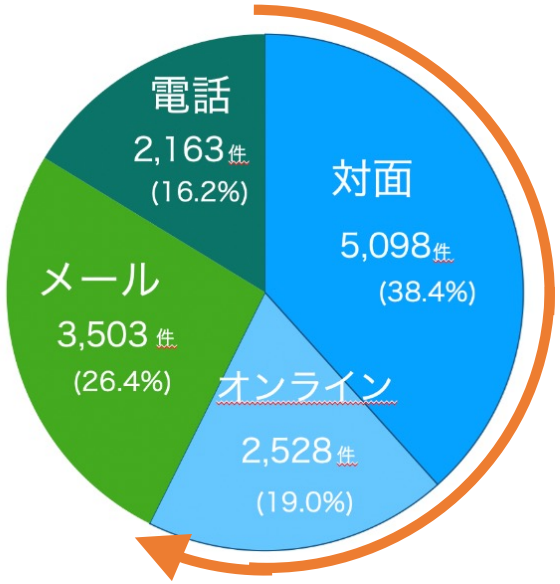
利用者新規人数



延相談回数



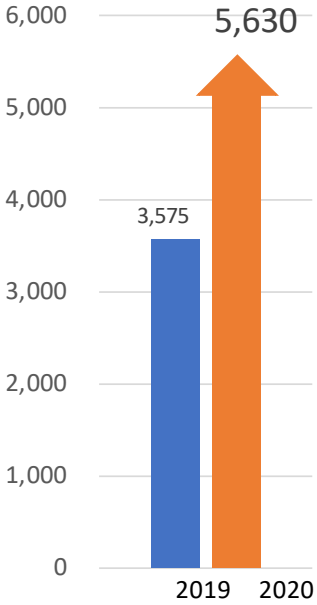
相談形態



約 6 割の学生は「顔の見える相談」希望

学生相談センターカウンセリング部門における３次支援(個別相談)の概要

延相談回数



一人あたり相談回数

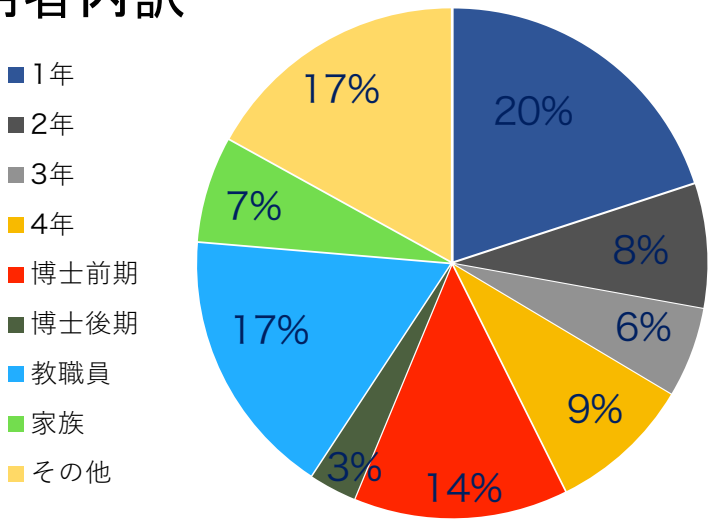
2019年　5.2回

2020年　3.7回

予防効果
深刻相談

二極化

利用者内訳



2020年度　利用者の内訳（人数）

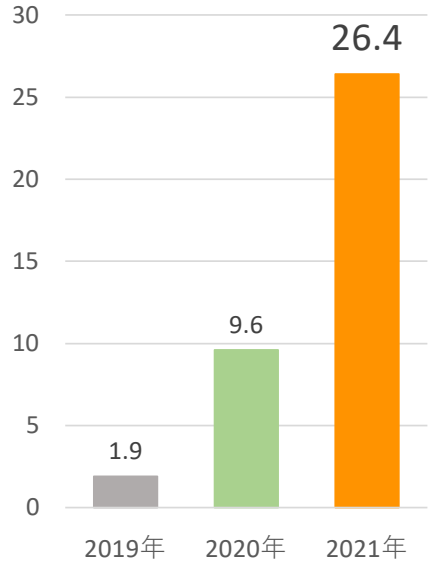
*その他：SNS等による学年不明分を含む

教職員・家族

約2.5割

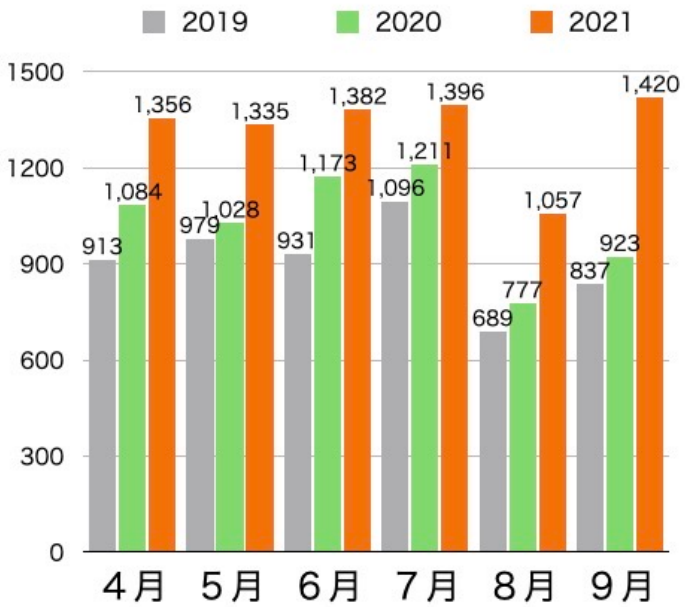
相談回数の増加

緊急事例数（月平均）



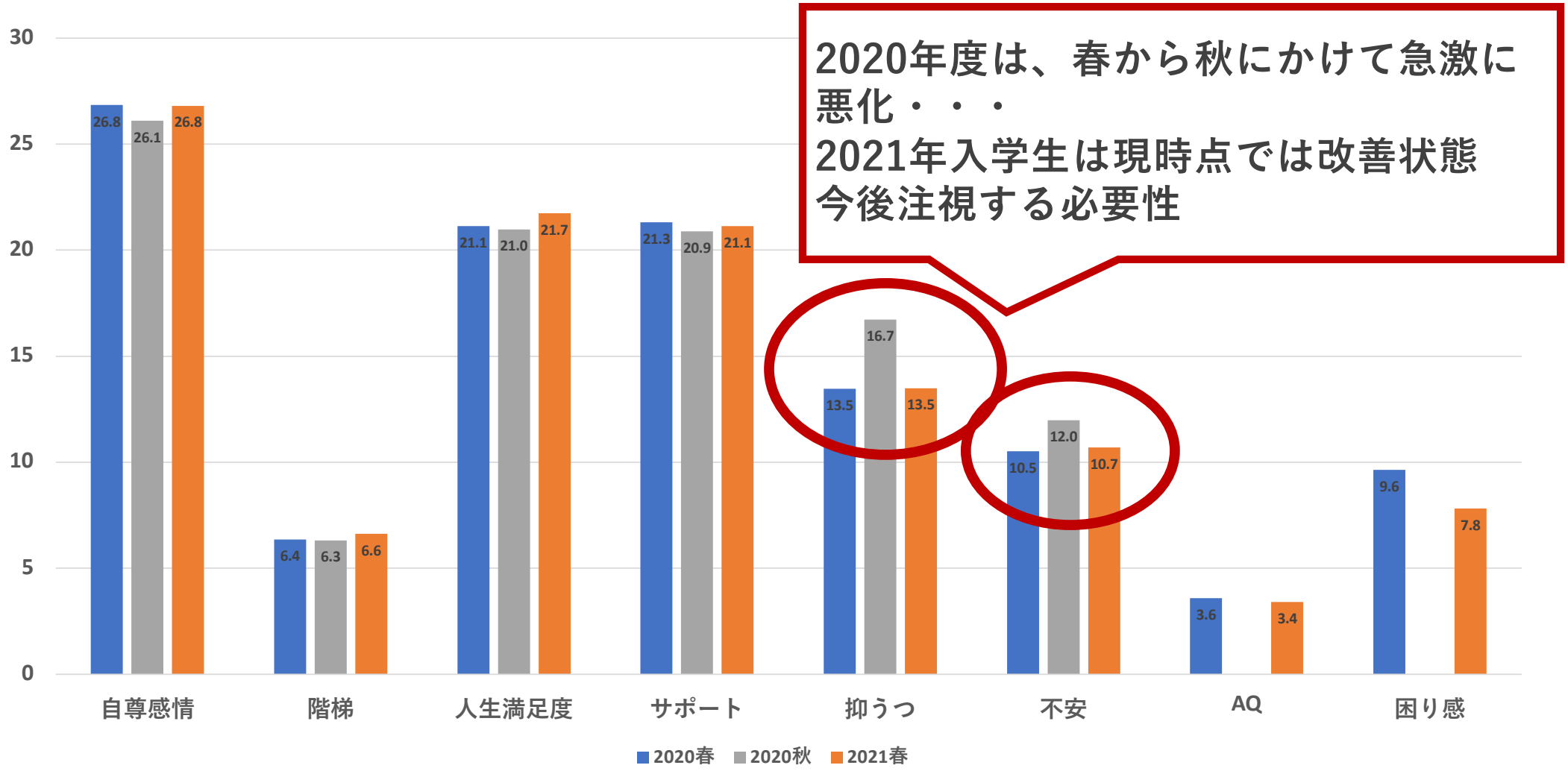
昨年度比
175％増

学生支援本部　延面接回数



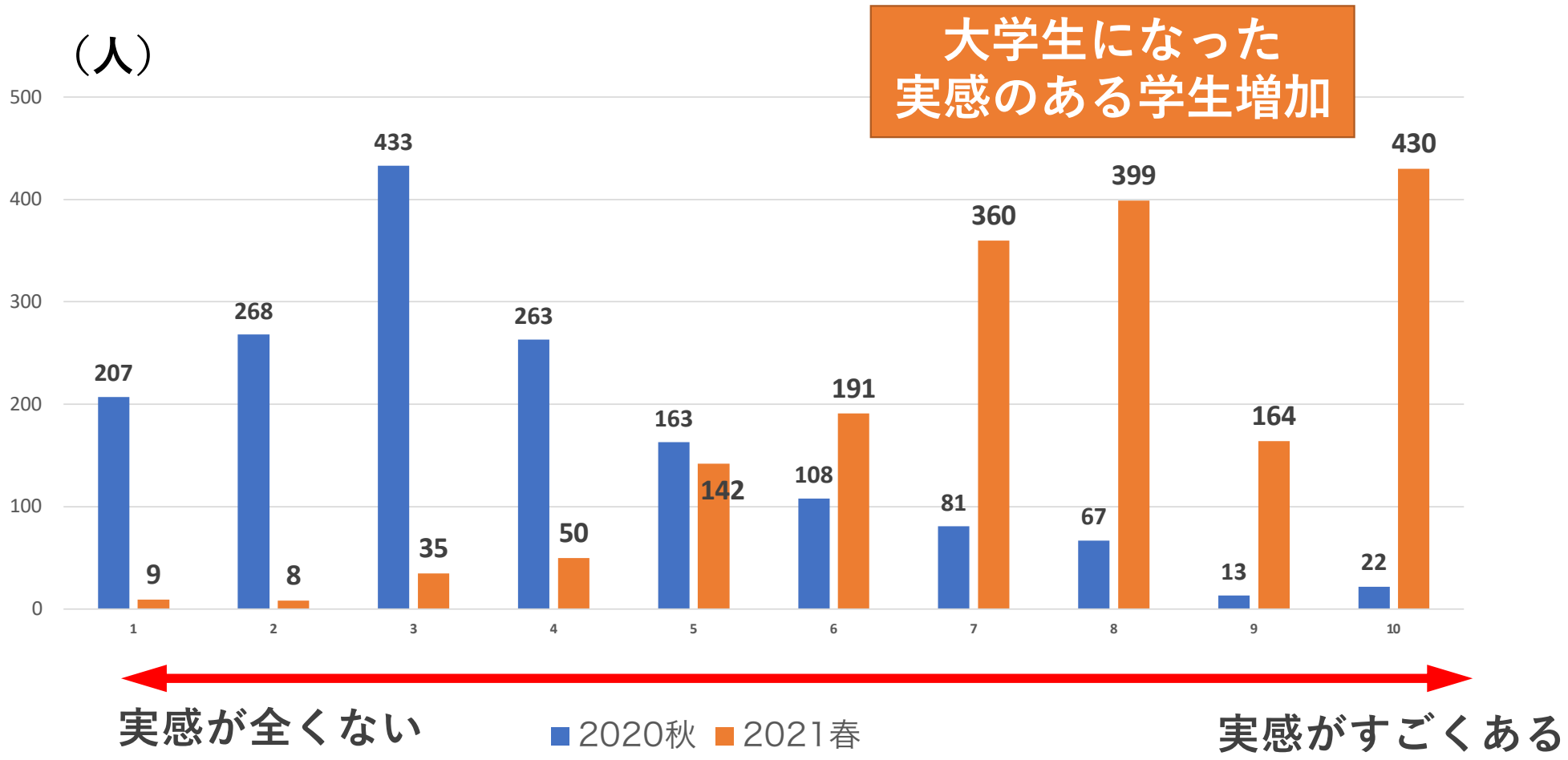
2021年
全月 最高値

新入生アンケート結果－2020・2021比較

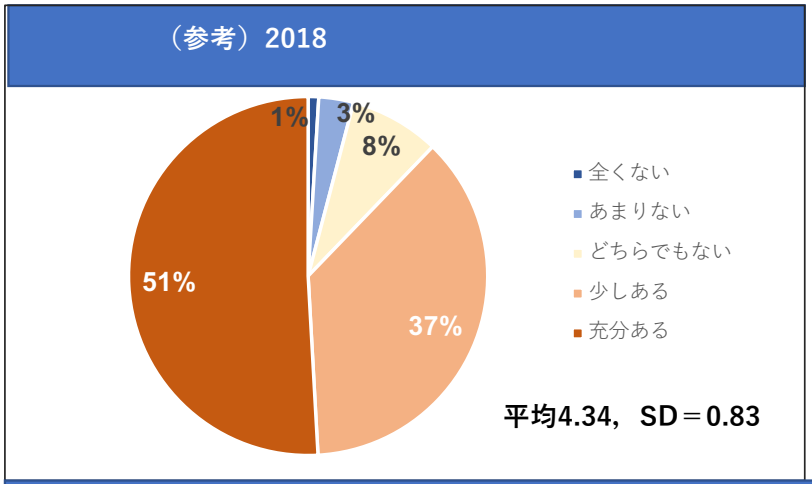


大学生になった実感
2020よりも大学生になった実感が高い

入学式の挙行、対面授業の増加、新歓の実施、対面の学生支援ガイダンスなど、大学生活実感効果の影響

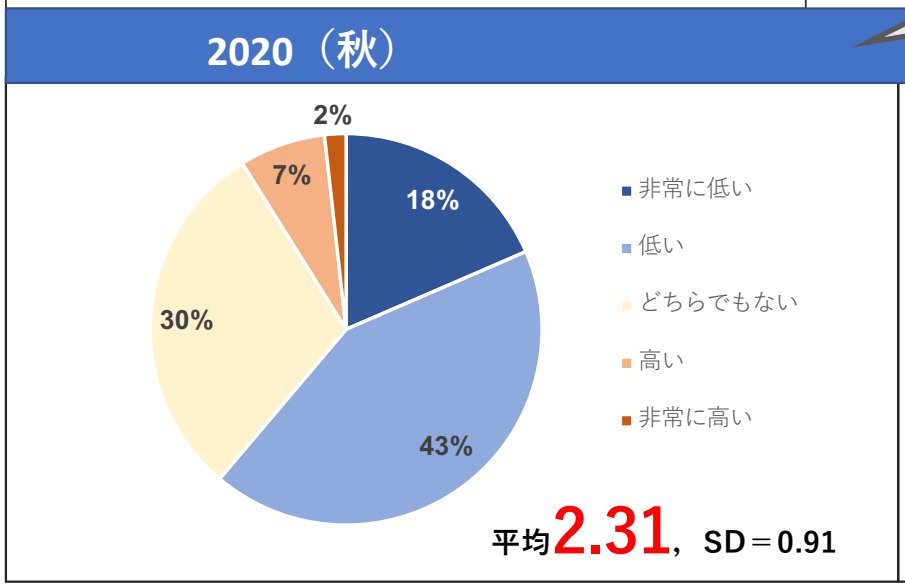


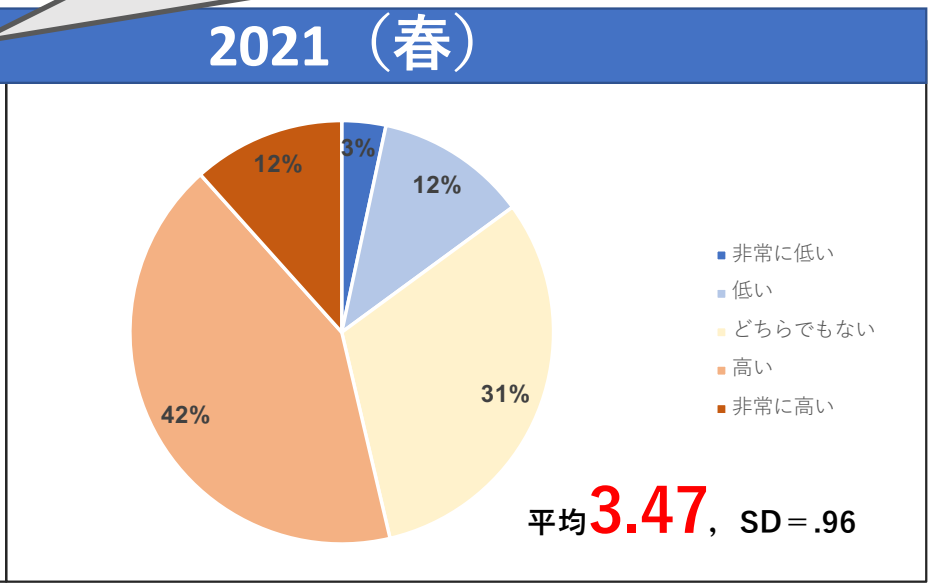
１・２年生において勉学意欲の低い学生が顕著に多い



2020秋には、**１年生の半数以上が勉学意欲が低いと回答**（2021年新入生で改善）
⇒オンライン授業、対人交流の少なさによるメンタル悪化の影響

2021春の1年生は、2018に比して、**入学時当初から勉学意欲が平均的に低い　2018は低い学生4%、2021は低い学生15%**





今年度１年生の特徴

1. 抑うつ・不安の平均値は**2020年度入学生と同程度**
2. ただし、カットオフを超える**要支援群は増加**
3. 勉学意欲は**入学時から低い学生が一定数**
4. **自由記述欄の記載率の増加、不安の記載の多さ**
5. **「大学生になった実感」は2020年度学生に比して顕著に改善**

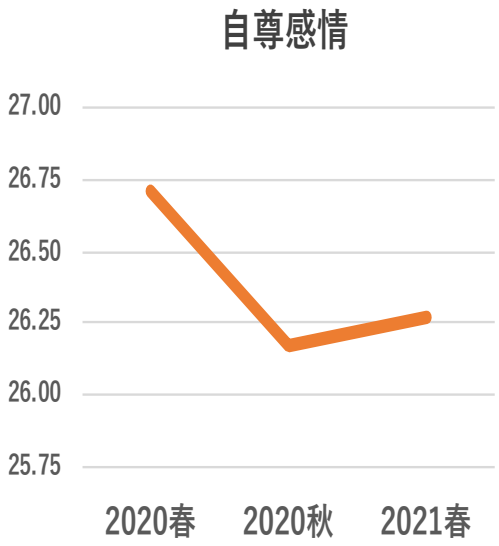
“几帳面、真面目な名大生イメージ”と異なる一群（200名超）の可能性

- アンケート未回答13.4％（2020春6.4％; 2020年秋8.1％）
- 必須新入生特別講義の欠席8.7％（2020秋4.0%）
- 入学時に既に勉学意欲の低下

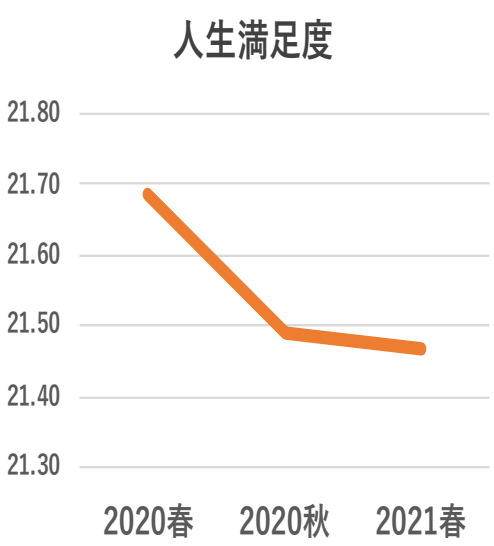
2021/05/28現在

2020年度入学生の追跡

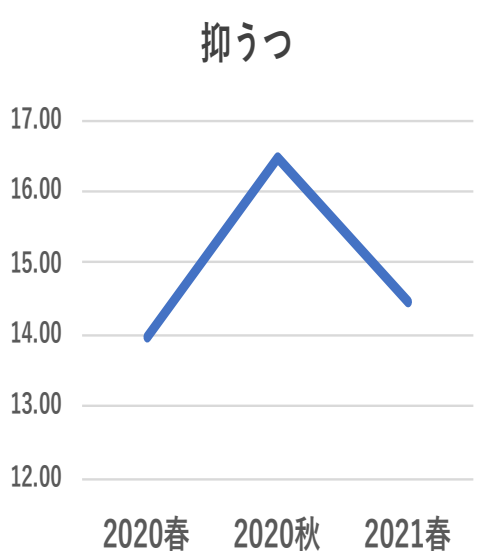
2020春（入学時）、2020秋、2021春の３回実施
３回のデータがそろった学生357名を分析



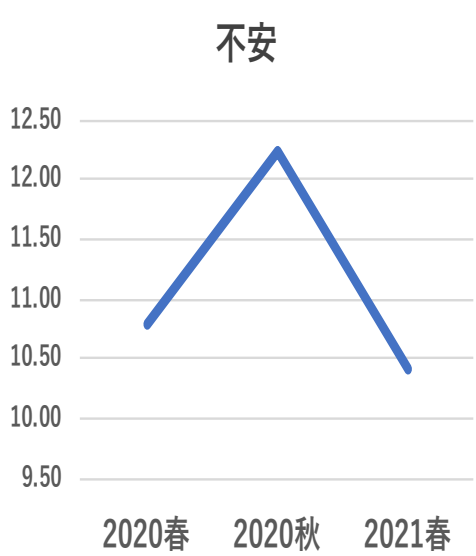
F(2) = 5.747, $p < .05$, $\eta^2 = .02$



F(2) = 0.46, n.s., $\eta^2 = .00$



F(2) = 19.729, $p < .01$, $\eta^2 = .05$



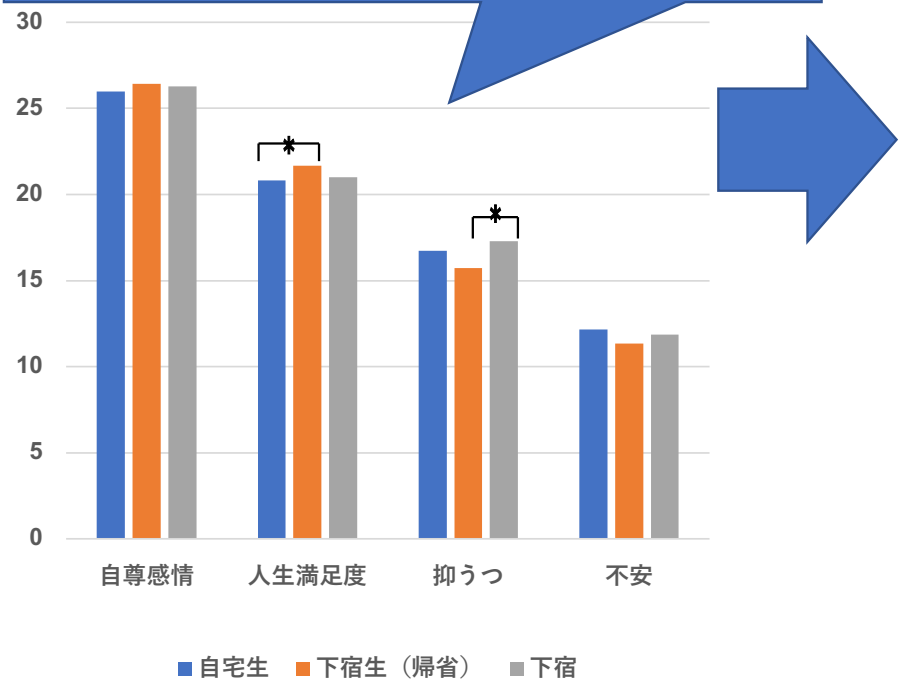
F(2) = 18.415, $p < .01$., $\eta^2 = .05$

自尊感情が下がったまま未回復
傷つきやすい、積極的行動の減少などが懸念される

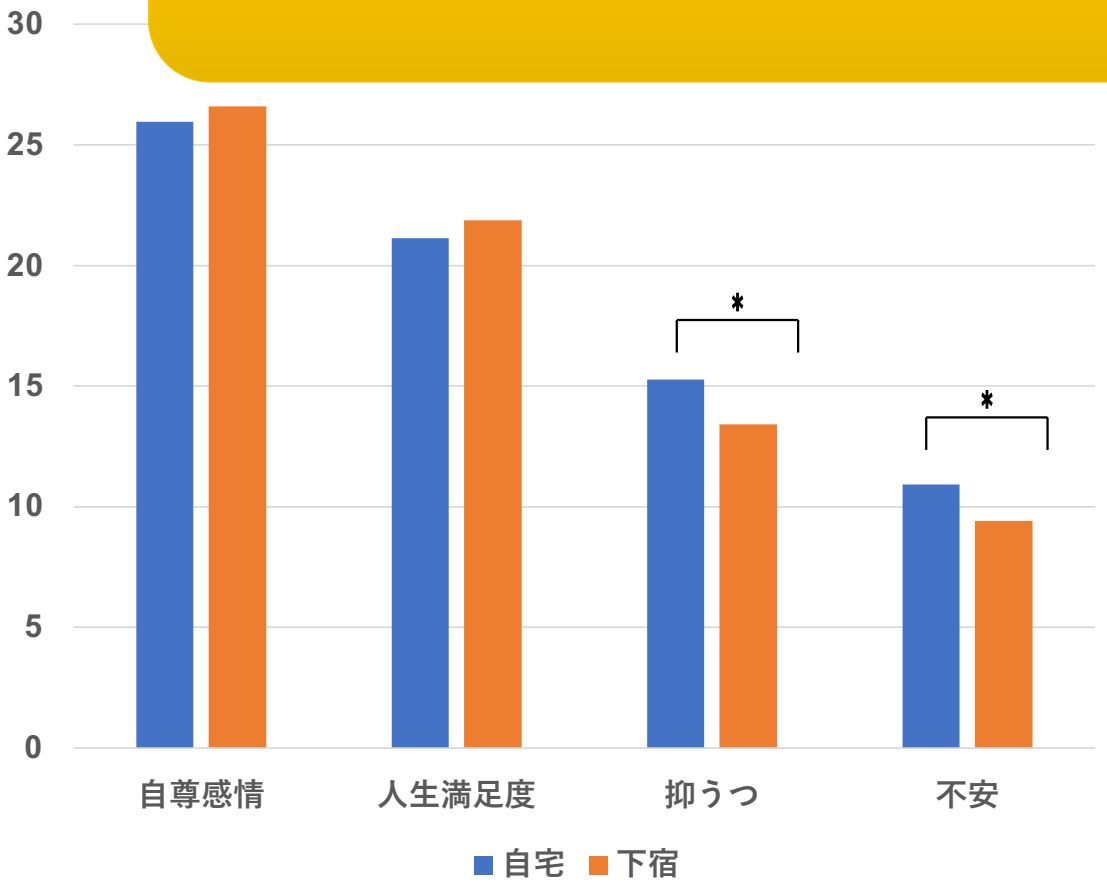
2020秋にかけて急激に悪化
2021春には回復傾向にあるが、秋にかけて注視する必要

2020年度入学生の追跡

【2020秋調査】
春学期中帰省していた下宿生が最も健康度が高く、一方で、下宿生の抑うつが心配な状態



【2021春調査】
秋学期中には、下宿生はほとんどが下宿に滞在。下宿生の健康度回復が顕著な一方で、自宅生の抑うつ、不安は回復幅が少ない



2021＆2020年度入学式、学生支援本部特別講義／同郷の会

大学生としての通過儀礼
（実感の高まり）

2020年度入学生は７割強
（約1,550名/2,175名）出席

特別講義　8.7％欠席
欠席者の約７割はアンケート未回答

同郷の会（65名参加）

総長メッセージを新入生に配布（学生支援本部による特別講義にて）

名古屋大学

名古屋大学への入学おめでとう！
新しい時代を切り拓くために、
コロナ禍を乗り越え、共に学び
勇気ある知識人として、
たくましく成長しよう！

名古屋大学総長　松尾清一

令和３年４月

名古屋大学

入学おめでとう！
コロナ禍を乗り越え、共に学び
勇気ある知識人として、
たくましく成長しよう！

名古屋大学総長　松尾清一

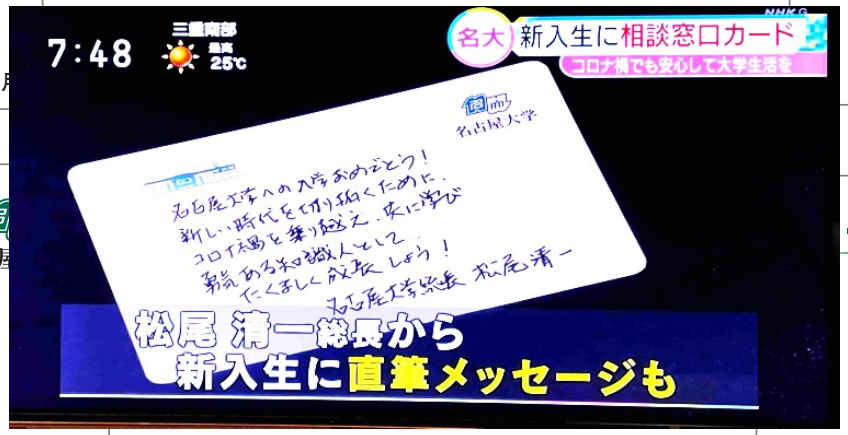
令和３年４月

名古屋大学

苦難を乗り越えての入学、おめでとう！
自由闊達なキャンパスで大いに学び
大きく成長することを期待します！

名古屋大学総長　松尾清一

令和３年４月



名古屋大学

新入生諸君を心から歓迎します！
自由闊達な学風の下で、
大きく成長することを期待し、
未来を創るのは君たちだ！

名古屋大学総長　松尾清一

令和３年４月

名古屋大学

新入生の皆さん、入学おめでとう！
これから新しい生活が始まります。
キャンパスでの一日一日が、
皆さんの成長の糧になります。
大きく成長することを期待します。

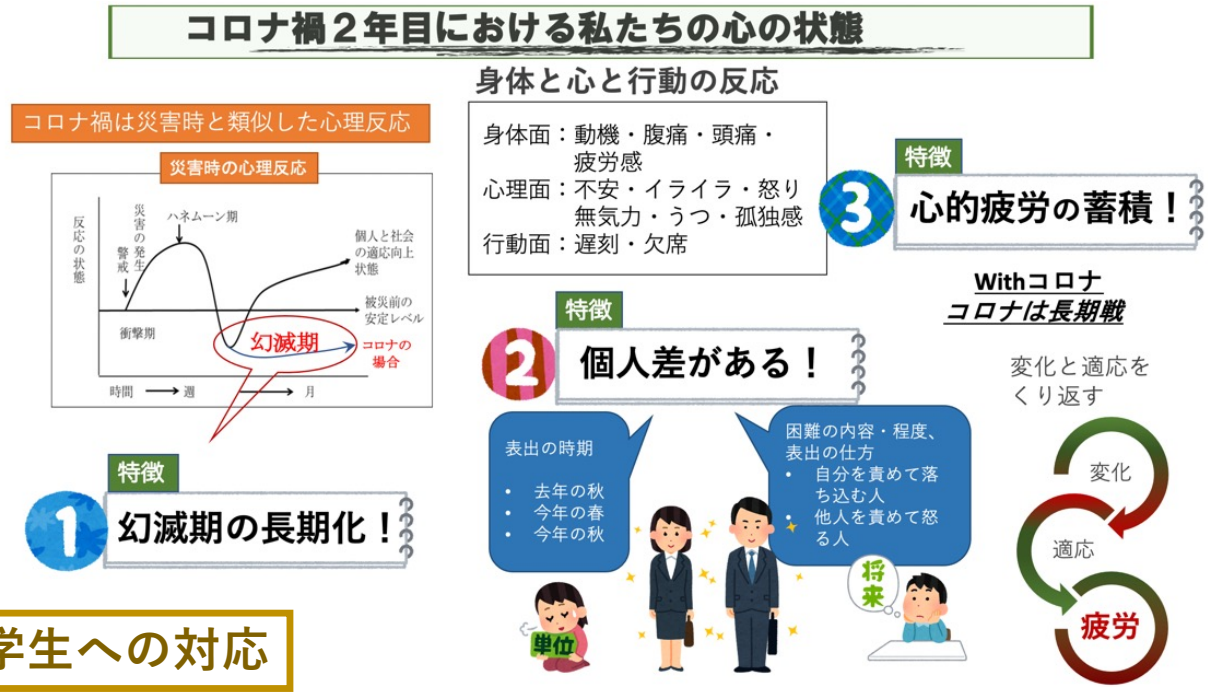
名古屋大学総長　松尾清一

令和３年４月

研究室、ゼミでの指導のコツ～コロナ禍学生の心性理解と対応～

コロナ禍学生の心性

- 災害としてのコロナ禍が長期化している一方で，社会は一見通常化しています
- 大学生活の不足（対人接触の不足）は学生にとって大きなストレス・喪失です
- 長くストレス・喪失に晒されている学生たちは，心的疲労が蓄積し孤立化は心身に大きなダメージをもたらしています
- 学生は自分の力を発揮できない状況にありながら，それが自覚されていません
- 特に有能感の高い名大生にとって自身が力を発揮できない事は自らへの不全感・罪悪感・羞恥心を高めます
- 「できないこと・人に頼ること＝無能」という感覚が耐え難いものとなり，最悪の事故につながると考えられます



学生への対応

- 学生の感じる困難は，「異常な状況に対する正常な反応である」という理解を繰り返し伝える
- 「できなくて当然」「頼る事は大切なスキルである」と伝え，困難について話し合う事・相談する習慣を促進する
- 学生は先輩・教員の背中を見て学んでいます。有能な先生・先輩を見て「自分もできて当然」と自分に高い要求水準を課す傾向にあります
- 先生方が率先して「できない自分」「相談する自分」「超人ではなく一人の人間」としての手本になってください

学生支援本部 学生相談センター　**【教育連携室】 心理教育プログラム**

学生・研究室を対象としたオンデマンド型研修プログラム

心理ウェルネス プログラム

- ✓ **学生のセルフマネジメント力・スキルの向上**
- ✓ **研究室のチーム力・リーダーシップの向上**

研修テーマ

①「**セルフケア**」こころの健康づくり
②「**アウェアネス**」大学生活を見える化する
③「**レジリエンス**」折れにくい心を作る
④「**ストレングス**」自分の強みを知る
⑤「**コミュニケーション**」対人関係のスキルアップ
⑥「**チーム**」連携・協働のためのスキルアップ

「オンデマンド型研修」とは

学生に役立つと思われるテーマから、人数を問わず実施できる研修メニューを用意しました。

左の研修テーマから、ニーズに沿うものをお選びいただけます。

各テーマについて、**ショート版、ミディアム版、ロング版**をご用意していますので、お時間や人数など、ご都合に合わせて実施できます。

※ご要望により内容のカスタマイズもいたします

保護者の方も相談できます

名古屋大学学生支援本部では
ご家族からのご相談にも対応しています
少しでもお子さんのことで心配なことがございましたらぜひご遠慮なくご連絡ください

・健康のこと
・進路のこと
・学生生活のこと
・友人関係のこと　など

学生支援本部では
医・キャリアカウ
が学生さんの状況
を中心に丁寧なサ

詳しくはホームペ
https://gakuso.p

名大生の約2割が
利用しています

soudan@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp
052-789-5805
月曜～金曜（祝日除く）
10：00～17：00

相談
やメ
承っ
事前

Compus

Communication on campus

On 東海国立大学機構

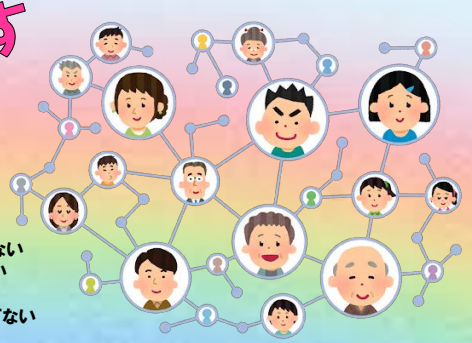
コミュニケーション力向上プログラム

Compus とは、ともに生き生きとした社会を作り出せる人を育むことを目指して、話す力、聴く力、協調する力、発案する力など、コミュニケーションに必要な力を、他者と交流しながら体験的に身に付けるプログラムです。

日時	2021年10月30日（土）10:00-15:00
場所	オンライン
対象	名古屋大学、岐阜大学の学生で、コミュニケーション力を向上させたい方。
定員	30名（先着順）複数人での参加も歓迎です。

これまでのプログラム参加学生からは、初対面の人と自分がこんなに話せるとは思っていなかった、できないと思っていたことでもできて達成感があった、自分とは全然違うタイプの人と接して大きな刺激になったなど、参加してよかったという前向きな声が多く聞かれました。今よりももっと人とうまく関われるようになりたいと思っている方は、ぜひ一歩踏み出してみてください。

学生支援本部が おせっかい やきます



大学生になって・・・

- オンライン授業ばかりで友達になるきっかけがない
- サークルに入ってないから、先輩とつながれない
- 趣味の合う友達が欲しい
- 家と大学の往復だけで気づいたら誰とも話してない

そんなあなたに、学生支援本部が“友だち100人できるかな～♪”をちょっとおせっかいさせていただきます。

日　時　：　10月27日（水）　13：00～17：00
場　所　：　学生支援棟2F
ホームページの動画　「NU-walk」または
Instagram　「meidai_studentsupport」で
検索してください

名古屋大学　学生支援本部

www.gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp

https://twitter.com/NU_SCC